普段着のわたしたち

春休み前から長~く続く自宅待機の日々。



子どもが楽しめる遊びを探 す中、巷の流行を見つけま した。「自宅で楽しいイチゴ 狩り!」

何度かするうちに、自分 で上手にヘタをピンチに挟

む技も身につけ、達成感もあるようで、と ても楽しんでいます。

しかし、間も無くイチゴのシーズンも終わり。このまま自粛要請が続くと、次に吊るすのはさくらんぼか葡萄か。

メロンは無理だな・・・。 訶梨帝母

~奈良旅行の続き~ 奈良へは2月に行ったのですが、コロナウイルスの影響で外国人旅行客の姿がほとんどありませんでした。

今から思えばまだ平和な風景ですね。誰

もこの時はまだ 現状のように緊 急事態宣言が出 されるとは想像 していませんで



したから。興福寺から奈良公園を散策しな がら奈良国立博物館へ向かいました。

征阿

『友引町内会通信』はパソコンやタブレットでもお読みいただけます。検索は http://www.daigoji-temple.jp/ 「友引町内会通信」をクリックしてください。寺務局

私に復活の日がやってきました。

膵臓の病で入院している間に声が出なくなってしまい、退院しても人と会話するのも困難で檀家さんへのお参りもなかなか復帰できませんでした。落ち込んだ生活が一ヶ月半ほど経過した頃、以前から依頼を受けていた日がやってきました。カトリック教会の信者さんの前で読経をするのです。既に挨拶した時点で声はダメでした。今日声が出なかったら諦めることにしていましたから良い機会です。いちかばちかやってみました。そしたら不思議!声が気持ちよく出る出る!

後日、信者の方のブログに感想が書いて ありました。『…それにしても住職、読経に



なると声がデカい、 太い、艶がある、 <u>バリトン</u>のオペラ 歌手ですか?』 あなたの「主」が、

私に失った声を再度お与えくださったので すね。読経の前、諦めた瞬間とても安らか な優しい心になりました。 俊徳丸

お寺へ人が大勢集まる行事は自粛してい

ます。ただ、 檀家の奥様方 が丹精込めて お世話いただ いている花壇



は、どうしても親子の散歩を引き寄せてしまうのです。お母様方、どうか井戸端会議 をお始めになりませんように。 迷走坊

別々の 有り難 気ない入学式でしたが、 入し、 開 生の挨拶はテレビ放送。 け放たれ、 我が愚息、 懸念していた入学式ですが、 慌ただしく下校を促されるという味 教室に入室 寒風吹きすさぶ中、 無事小学校入学式を終えまし (マスク着用)。 やって頂けただけ 教室、 廊下の 親と子は 教材を購 校長先 窓は

れ以降ずっと休 ところが、

校。

家の中で有 そ

今はリビングの 式当日に記念撮影のために背負っただけで、 消 り余るパワー Ŧī. 月連休明けから登校できるのでしょうか。 費する日 々。 ピカピカのランドセル 飾り物と化し。 はてさて、 は、

だって要請だし・・・」という声ばかりを のとコメンテー メディアでは 三か食傷気味。 から、 やってい 態宣言発令、 「休業補償」をするのしない ・ター 街頭に出ては、 けないから営業します。 が >激論。 外出自粛要請。 そんな議論 「補償 が無 連旦、 ŧ)

> 潮。 くあるのに、 枝」、「鷹は飢えても穂を摘まず」という気 うしたいのですか。 に大衆を煽動するのですか。 概で営業自粛をする人々も実際のところ多 味方」を装うメディア報道は、 あえて拾い上げ報道し、不公平感を煽 そして流され同調する大衆。 いものは何ですか。 何故「貧すれば鈍する」方向 「武士は食わねど高楊 最後に守りた この国をど 弱 者の る風

ます。 郎 命を守る事ではない 私の金科玉条の一文をご紹介し 0 『中原 小説 により。 の虹 のですか。 | 著

う

た64

感染を止

め

حَ

も

浅田

次

日

本人の中に、

仁の人はあり義

ŋ

を体現することは、 に生きるためのすべての規範をいう。 式や作法や制度や、 は法律がどれほど整備されても及ばぬ うことをよくご存知なのだよ。 ばかりでなく、人間いかに生くべきかとい チサさんはその礼を知る人だ。 の人も多くあるが、礼を知る人は少ない。 仁をなし義を貫くより わば 人間がまっとう 礼というの 礼儀正しい 儀

ずっと難し

つも叫びたい気持ちも重々理解できます。 とはいえ、 「補償金をくれ」と文句の一



ちょっと小さいし。 りの火に油。 たいそのマスク、 枚」では国民の怒 「アベノマスクニ

だい

様もどうかこの 全員のボーナスは0。 少しは安まる気がしますけど。 い!」とでも宣言頂くと、 償はできませんが、 この 際、 どうでしょう。 難局をこらえてくださ 向こう五 ですから日本国の 国民の気持ちが 「皆様の休業 年間国会議員 皆 補

てもの救 くもないこの陽気は、 に庭でおにぎり。 ツコツ庭掃除。 などと考えながら、 愚息と一緒 暑くも寒 せめ 外出自粛生活中はコ



不条理の哲学 - ペスト

「しまった!」と、思わず声が出ました。 2月26日、新型コロナウイルス感染症への対 応について、安倍首相は各種イベントの2週 間の中止・延期・規模縮小を要請したのです。

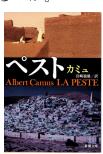
2日後の2月 28 日には、御朱印を求めて 200 名を超える参詣者が拙寺へ来られること を予想し、準備万端整えていました。

受付を本堂で行うしかない拙寺では、暖房のために閉めきり、間近で応対します。そこへ次々と 200 名を超える方が来られたらどうなるか。甘かった。直ちに自粛と決めました。

3月も4月も、御朱印は準備だけで終わりました。檀家さんと相談し、4月の月参りは全部中止、法事は延期していただきました。

最悪の事態を想定し、周到に準備し、状況の変化に対応するのが危機管理。自粛要請にお寺はいつまで耐えられるか。夏までに終息しなければ、パンデミックの最中に施餓鬼やお盆の棚経を例年通り勤められるのか。

判断の指針はどこに・・・。 やっと想い出したのが、フラン スのノーベル賞作家アルベー ル・カミュの『ペスト』です。



早速アマゾンへ注文しました。いつもなら翌日配達される文庫本が、到着までに22日も掛かりました。後で知ったのですが、コロナ禍が始まってから既に100万部を突破するベストセラーだったとのこと。判断が遅すぎた。

物語の舞台は北アフリカの国アルジェリア、 オランという港町です。その記述は、

「ある町を知るのに適当なひとつの方法は、 人々がそこでどんなふうに働き、愛しあい、 死んでいくかを探ることだ。(中略) ここの市 民たちは一生懸命働くが、それはつねに金を 儲けるためだ」

正に今の日本です。感染爆発、医療崩壊を防ぐより、目先の経済優先ではありませんか。

『ペスト』では町が封鎖されます。(日本では「できっこない」と初めから検討されず) そこで経済が停滞すると何が起こるのか。発端から終息宣言までの9ヵ月間、「自分にできることをする」と覚悟した人々の連帯が綴られています。その中からも死者がでます。

この作品は小説ですが、同時に疫病の感染 爆発のような不条理に対する哲学書であり、 社会がどう動き、人間がどう乗り越えるかを 示す予言書のようにも思えます。

作者は、厄災は再び繰り返されるだろうと 暗示して、見たことを記憶し続ける大事さを 説いています。

戦前の行き過ぎた国家による統制の後遺症 で、私たちは目に見えない敵にどう連帯して 戦うかの国民的コンセンサスができていませ んでした。私も備えが甘く、判断が遅かった。

文句は後から言えば良い。今は、「人との接触を避ける」、「自分に出来ることをする」。この2つに専念しましょう。

不安やイライラを鎮める工夫をしてください。1日も早い終息を念じています。迷走坊

☆スペシャルホワイトスープ

私にとっての白いスペシャルスープは、「酒 粕」で作る「粕汁」です。

「酒粕」は日本酒を作る工程で、仕込んだも ろみを圧搾した後に残る板状の固形で、私の幼 少の頃は、酒屋さんの御用聞きの方に頼めばタ ダで貰えたものです。私の祖母はそれを火鉢の 網であぶり、砂糖醤油をつけておいしそうに食



べていましたが、酒の香りが強烈で子供には食べられたものではありませんでした。現在は近所のスーパーに売られていますが、「成城石井」に売られているものは特別すばらしいです。近

所のスーパーのものより少しだけ値は張りますが、有名な酒蔵のものや、運が良いと大吟醸酒から出た酒粕が売られたりしています。上品な香りがたまりません。

私が粕汁と出会ったのは、高校を卒業して京都のお寺へ入ってからです。粕汁をわかりやすく説明すれば、「トン汁」や「けんちん汁」の醤油・味噌の調味料を酒粕に代えたものと言えるでしょう。ただ酒粕だけでは味が締まりませんので味噌などを加えて味を調えますが、あくまでも味の主役は「粕」なのです。年明け後のお寺の行事のお接待には大抵これを出しますし、冬の関西の街中の定食屋さんには、大抵のお店に「粕汁定食」の張り紙があります。体が温まって安価で、亡き小説家の池波正太郎も大

阪黒門市場の定食屋でこれを楽しんだようです。私が生まれ育った岐阜にはほとんど馴染みがありません。

最初、私は子供の頃の強烈な香りの記憶があり食べることができませんでした。年を積み重ねて京都の湿っぽい冬の寒さを肌で感じつつ



好きになっていった ように思います。

現在、私は朝のお味

噌汁を味噌と酒粕を半々の分量にして作っています。粕汁のようなお味噌汁のような宙ぶらりんのようなものです。出汁は「干しシイタケ」と「切干大根」と「高野豆腐」と「刻み昆布」です。ここでワンポイント! もっと使いましょう。乾物は具にもなりますが「戻し汁」もそのまま使えば栄養満点で美味しいだし汁となります。これらを前の晩から水に浸しておけば、朝は味付けするのみで短時間で出来上がります。また酒粕が乾物類の個性的な味香りを一つにまとめてくれているように思います。

酒粕はお腹の調子 を整えてくれます。酒 粕の中の酵母菌が熱を



加えることで死に、その死骸

が腸の善玉菌の良い「餌」になるからだとある お年寄りから聞いたことがあります。本当なの かわかりません。私が試した経験では、「干し シイタケ」との相性が抜群である気がします。 朝トイレに行ったら毎日ビックリするように なると思いますよ。お試しあれ。 俊徳丸

|私説法然伝』(64)

六道を見た⑧

その続きについて書きます。 訪ねる場面について書きました。 "平家物語』で後白河帝が建礼門院徳子を 先月号では頼朝と後白河帝による会談
 今月号は

尼から、 争という修羅道の苦しみ、生き残った人々 飲みたくても飲めない餓鬼道の苦しみ、 上では水が飲みたくても海の水しかなく、 るのである。 建礼門院は後白河帝に「六道を見た」と語 ような姿で再会する事に涙を流す。そして である安徳帝を抱き海中へ沈んだ母の二位 た姿は畜生道の苦しみ、 の泣き叫ぶ姿は地獄の苦しみ、捕らえられ 天皇の国母としての天人のような暮らしか 無常を感じる。 建礼門院の境遇を見て、後白河帝 都落ちという人間としての苦しみ、 と後白河帝に語るのである。 建礼門院だけは生き残り後生菩提 絢爛豪華にして何不自由なく 建礼門院は後白河帝とこの 私は六道を見たの 我が子 は世の 船 戦

> る。 える人生でもあった。 権勢を失った。両者とも失った者同士であ いう。 かったわけである。「六道を見た」とは、 人生でもなければ、 珍しく奇瑞である)であると涙を流したと 白河帝は六道を見る事は有り難い事 を弔って欲しいと願われた事も話した。 しかし人としての頂点を極めたとも言 建礼門院は全てを失い、後白河帝は 喜びだけの人生でもな 単純に苦しみだけの (実に 言 後

その人生とは、常ならざる無常そのもので 念仏を称えながら往生したと言う。後白河 である。 ならないものであると二人は思い知ったの あり、良いことも悪いことも思い通りには い換えれば人生そのものでもあるのだろう。 の往生を願う日々を過ごし、 建礼門院はその後、 西方極楽浄土 本願を信じ 何を思うのであろうか?】

られた。 し 年 帝も頼朝との会談の後の二年後、 政権構造の形づくりに成功したと言える。 任ぜられる。 たに即位された後鳥羽帝より征夷大将軍 かし頼朝の子の頼家は征夷大将軍を継ぐ (一一九二年) に崩御される。 後代まで続く「幕府」という名の 政治的には頼朝の)目標は 建たきゆう 頼朝は 達

> 山中の Ŕ を示す祇園精舎の鐘の声で始まり、 く暗殺される。 母方の北条氏が実権を掌握する。 いで終焉を迎える。 んだ戦乱が再び起こる。『平家物語』 の実朝が第三代征夷大将軍となるも、 政権内は分裂し内紛が起こり暗殺され、 山寺の鐘の音が鳴る寂光院での語ら そして日の本全土を巻き込 頼朝は 後の歴史を見て 頼家の弟 大原の は無常 同じ

に地獄絵図 帝も同じであり、 れている事が重要なのです。 きらびやかな王朝絵巻の より我が子の安徳帝の最後だけではなく、 建礼門院の語った六道を見たとは、 の様な戦乱と平家滅亡の姿、 頼朝も同じ 如き全盛期も含ま それは 事なの 後台 です。 単 何 純

以下次号に続く

(征阿



水野年芳筆・寂光院

銀

瑪

瑙

珊

瑚

白

至

真珠)の七つの

光

に異

な

0

た宝

石

0

色

(=黄

紫

金

白

ŧ

中

観経物語(11)

 $\widehat{+}$ 根莖枝條 葉華菓 経 要

老不死の法 無む 七重寶樹の風しちじゆうほうじゆ 派漏圓成 成 の意を示 を説 き 光 Oは す

1

童

網

上

容を説 $\widehat{\parallel}$ ţ 正宗分第四 \Diamond の宝地 讃えておら この要讃(十) 宝樹 明しながらその だを見ようとする者は (地想) れます。 の宝 は 観に続 樹観について、 観 深意を読みとき、 観 経 7 経 0 中心部分である の本文で 「次に宝 樹 0 1 一樹を見 そ は、 根 ② 莖 0 第 褒 内

つ (種) が七重にならんだ並 菓(=菓実)の一つ一つを観(察し)て、 のは 茎)③枝④絛(=小枝)⑤葉⑥華(= ない 0 以下 宝石でできた花や葉をそなえな は取意)その多くの宝樹 つ一つの花や葉は、 木の姿を思い 金、 浮 それぞ は、 か 花 それ べ (7) 七 ょ 1 旛んと Ĺ 「依えら、 宝樹 され され 七 0 0) 0

を放ち のうちに行わ は大きな光明が さである。 と列 る。 は 子 ع 美しい る。 ている。 \mathcal{O} 、は変現する如意宝珠を首によいほうじゆ は 多くの天の 網 無数の宝石に飾 宝果が実のってい それは日と月を合わせたような明る の間が正しく 美し 輝 0 この 間 V てい 15 花が咲き出てお (以下はさらに略)また宝樹 れる佛 (以 下 天蓋 真 は 射 る。 珠 童子が自然に 豪華 のなかに、 \mathcal{O} 略)」 揃 0 網 また一 5 教 その光明によって憧 な宮 が って ħ . る。 掛 化 た天蓋が 、おり、 本ず ŋ けら 殿 \mathcal{O} この 無限 がが 住 飾りとして 花の上 れて 切 W ならん つ 果実 で が 0) 葉 0) 大宇宙 作 写 0 樹 1 から でい は る。 L ŋ 12 間 る。 木 は 出 出 \mathcal{O} カン

5

列

など、 きて、 して小枝 ここまで説かれた極楽浄土のあ 宝石 観の 報」とよば 美感、 衆生の目安や拠り所となる大地 共通するところを発見しましたが 0 から果実に至るま 並木を見てみ 色が)明感 光り れる具象像は、 輝くようであると見て れば、 水 平 での 整然感 根 すべ 例えば から幹、 りさまの てが 無限 この など そ 七

11

ると言

っておら

れるのです。

と言い では まり 土の 文物 ぜ 宝 師 死 つまり 無 け止 その意味するところは た点を例えて説き、 められないので、この 麗 止める人に、 を説くかと言えば、 て教えを説 石 濁、 はこの 0 1 0 と煩悩 私たち まり私 すた = 輝 状 や現象をなど目に見えるものを受け 8 石 言 んは佛 態を ます 長短 きれ の輝 きを 11 要讚で 表 が、 きとか き現 0) 永遠の のことです。 などの たち衆生は、 な せ 0 依 無 目指すところであると、 わ な 報 いきなり 1 れら 漏 その 心 L 1 「不老不 てい 物差しを持ってでし $\bar{\mathcal{O}}$ 透明な水 ところが 荘 輝きと例 それが これ 衆生のために 動 圓 厳) 「煩悩」 成 佛の姿を説 ると言 心 乱を恐れてのこと。 何 0) 関 の働 死 を観法として受け 恒 な 本質 佛 というの が 本 に 面 0 えて、 一師は宝 を無くした、 きを とか か。 0 美 わ 説 \mathcal{O} 言 で 身 きだされ れ 体と 佛の 、ます。 |葉を用 あ 「不老 いても受 関 「煩悩」 り、 っです。 依報 一樹 本 強 優 佛 弱 諦 0) n 止 玉 な 0 承

妙 /星斎》